



行事予定表	
1	金
2	土 運動会
3	日 文化の日
4	月 振替休日
5	火 給食費振替日
6	水 交通安全教室 (4・5歳児)
7	木
8	金 3園合同交流会 (5歳児)
9	土
10	日
11	月
12	火 巡回相談/ピヨピヨ
13	水 リトミック
14	木 カレーの日
15	金
16	土
17	日
18	月
19	火 内科検診/避難訓練
20	水 おべんとうデー
21	木 歯科検診
22	金
23	土 勤労感謝の日
24	日
25	月
26	火 園訪問/おはなしキャラバン隊訪問 (4・5歳児)
27	水 不審者対応訓練
28	木 誕生会 (観劇)
29	金
30	土



秋の日はつるべ落とし、日毎に影が長くなり、日暮れが早くなった。暑い暑いと、汗を拭っていたのにいつの間にか吹く風も冷たく感じられるようになった。木々の葉も色づき始め、冷たい風に枯葉が舞うのも、もう間近。何となく寂しくなる。子ども達は、美しい自然の変化の中でその恵みを十分に味わいながらじつくりと遊び込んでいる。なんとなく落ち着いて、大きく成長した。

### 今月の予定の中から…

#### ●運動会 (2日)

・日々の保育の中で楽しんできた体操・遊戯を保護者の方々の前で披露する機会です。行事は、あくまでも通過点と捉えています。当日は、笑顔で参加できる子ども達もいれば、会場の雰囲気から離れられない姿も見られるかもしれません。暖かく見守って頂きますようお願いいたします。

#### ●交通安全教室 (6日)

・今月は、「公道を歩く」です。天候が良ければ、教員の方と交通ルールを確認しながら公園まで行く予定です。

#### ●カレーの日 (14日)

・カレーの日には、野菜を切る音が「トントン」と軽快に聞こえ、園内中カレーの匂いがして、食欲をそそります。

#### ●おべんとうデー (20日)

・お弁当の準備をいつもありがとうございます。子ども達はお弁当が大好きで朝から「早く食べたいな」と楽しみにしています。

#### ●内科検診 (19日) 歯科検診 (21日)

・年に2回の大切な検診です。体調不良児以外の方は必ず検診を受けて下さい。宜しくお願います。



#### ●おはなしキャラバン隊訪問 (26日)

・講談社の「おはなしキャラバン隊」が園を訪ねてきます。絵本を積んだキャラバンカーで絵本を見たり、ホールでも絵本の読み聞かせをして頂きます。

#### ●不審者対応訓練 (27日)

・もしもに備えて、不審者対応訓練を予定しています。

#### ●誕生会/観劇 (28日)

・誕生会の出し物は、今井浩之ひとり人形芝居「おさるのおしり」「それゆけ!ももたろう」です。観劇の費用は、今年も保護者会より出して頂いています。いつもありがとうございます。

#### ☆お知らせ

#### 発表会について

・先日、発表会の手紙を配信致しました。当日は、2歳児以上の2部制です。詳細につきましては内容をご確認ください。なお、土曜日保育はありませんのでどうぞよろしくお願い致します。

・非常勤の岡野由佳先生ですが、入籍をして宮由佳先生になりました。

・給食の調理補助として岡部玲華さんが先月より勤務しています。

#### 「みんな一緒にいい時」



私達大人は、個性や価値観の多様性を尊重すると言いつつ、みんなと同じでないと、不安になったり、落ち着かなくなったりしがちです。だから、いつもみんなと同じかどうか、そろっているかどうか心配します。そして、集団が整っていることを重視します。しかし、集団生活のルールは守らなければならないこと、自分勝手な我が儘は許されないことは当然のこととして、揃っているか整っているかより、一人ひとりが自己充実しているか、自己発揮しているかこそが大切なことだと思います。だから、みんなと同じでなくていいと思うのですが、みんな

な一緒にの方がいい時もあります。▼今年も筑波登山に出掛けました。曇りの予報でしたが、思い切って出かけました。ミストサウナのような濃霧の中でした。岩が濡れていて滑るので、「追い越し禁止、岩に登らない、ゆっくりと登る」と伝えて登り始めましたが、早い子はドンドン追い越して前に出たがりました。危険なので声を枯らして注意を続けたのでいつもより疲れました。▼数年前にハンディのあるTちゃんと一緒に登った時の事を思い出しました。元気のいいグループは先を争って登るので、頂上付近と最後尾とでは、かなりの時間の開きができてしまいます。着くとすぐに、「飲み物は飲んでいいよ」と言いました。しばらくすると、子ども達が「お弁当を食べたい?」と何度も聞いてきました。早く登った子は、体調も良いので、食べるのも早いのに、遅れてきた子は、疲れ切っているのに、食べるのも遅くなり、ますます遅れてしまうこととなります。時間も早いし、寒くて待ちきれないという状況でもありませんでした。私は、「一緒に登ったふたばの仲間が、早くみんなに追いつこうと、調子が悪くて、苦しみながら登っている子も、足が弱くて、フラフラしながら頑張っている子もいるんだ。待ってあげようよ。」と言うと、子ども達は「うん、わかった。待っている。」と言ってくれました。▼私は、今来た道を迎えに戻りました。山道を下って来る大きなT先生とハンディのある小さなTちゃんの姿が現れました。私の手を差し出すと、Tちゃんはそれを振り払い、「自分の力だけで登るんだ」という強い意志を感じました。待っている子ども達が、総出で迎え「Tちゃんガンバレ」コールが上がりました。Tちゃんはオリンピックのマラソン最終走者のように、ヨロヨロしながら両手を挙げて応えました。そして「みんな一緒に」ににぎりぎりを食べました。 理事長 浅田 精利

